



〔特集〕

応援してください。 YMFGも、私も。

山口フィナンシャルグループ各店のテレビCM「応援してください」シリーズ。

現在、石川佳純さん、中本健太郎さん、馬場良治さんにご登場いただき、3種類のCMを放映しています。

このCM「応援してください」というメッセージに、わたしたちのもっと謙虚な姿勢を大事にしたいという思いを込めました。

各店の店頭や、ホームページのCMギャラリーにてご覧いただけます。ぜひご覧ください！



石川佳純



中本健太郎



馬場良治



祝・優勝!!
平成25年度
全日本卓球選手権大会
女子シングルス・
女子ダブルス

皆さまYMFGと一緒に応援した
石川佳純選手が、
見事、単複2冠を達成しました。
温かいご声援ありがとうございました!

女子卓球 全農 所属

石川佳純さん

1993年山口県生まれ。
2010年 ジャパントップ12卓球大会 優勝
2011年 全日本卓球選手権大会 女子シングルス 優勝
2012年 ロンドンオリンピック 女子団体 銀メダル
女子シングルス 4位

平成26年3月までの期間限定で石川佳純選手の
メッセージ動画をご覧ください!携帯電話・ス
マートフォンでQRコードからアクセスしてください。



全力で最高のプレイをして試合に勝つ。
それが私の「おもてなし」です。



昨年は山口フィナンシャルグループ
(以下、YMFG)のコマーシャルに出演
させていただいたこともあり、地元
に帰って街を歩いていると「あつ、佳純ちゃ
ん!」と温かく声をかけてくださる方
が増え、「地元つてありがたいな」と感
謝しています。特に、2012年のロン
ドンオリンピック後は、これまで以上に
たくさんの方が応援してくださるよう
になり、とても嬉しく思っています。

昨年は家族4人全員が東京で開催
された国体に関わり、女子の団体では
57年振りに優勝することができまし
た。2011年の山口国体では地元の
熱い応援があったにもかかわらず、良い
成績を残せなくて悔しい思いをしたの
で、リベンジできて本当に良かったです。

数多くの試合を重ね、嬉しいことや悔
しいことを経験しながら、「回り成長で
きた1年になりました。

そんな中、2020年夏季オリ
ンピックの開催都市が東京に決定し、信
じられないような喜びとともに、「きつ
と私の集大成の大会になる」と感じて
います。ただ、今は目の前の一つひとつの
大会に向けてしっかりと頑張るのみ、と
燃えています。

応援してくださる方々へ私ができる
「おもてなし」は、全力で最高のプレイ



インタビュー当日は、正月用ポスター
の撮影日で、かわいらしい晴れ着姿を
披露していただきました。

地元の方々の応援が大きな力に。
活躍をお見せできるよう、
これからもさらに頑張ります!

をお見せして、試合に勝つこと。若い選
手に負けないよう精進し、日本代表と
して世界の強豪選手に打ち勝たなけ
ればなりません。また、今年は全日本
選手権や、それに続く世界選手権でも
活躍をお見せしたいと思っています。

地元の方々の応援つて、本当に力にな
るんですよ。いつも、ありがとうございます。
ます。これからもさらに頑張りますの
で、温かい応援をよろしく願いま
す。YMFGも私も、一緒に地元を元氣
にできれば幸せです。



株式会社安川電機陸上部 所属

中本健太郎さん

1982年山口県生まれ。現在、安川電機陸上部に所属。
2012年ロンドンオリンピック男子マラソン6位入賞、2013年世界陸上モスクワ大会男子マラソン5位入賞。(共に日本男子最高位)



みんなのおかげで今の僕がある。 感謝の気持ちをお返ししたいんです。



コマーシャル撮影は今回が初めての経験だったので、監督さんと撮影クルーの皆さんが明るい現場づくりをしてくださったので、楽しい雰囲気の中で撮影を終えることができました。周囲の人は私がコマーシャルに出ていることにビックリしたようですね。「とても良かった」と言ってくれる人が多くて嬉しいです。ただ、自分自身が出ているコマーシャルを観るのは、正直、恥ずかしいです(笑)。

同じように陸上人生も、これまで支えてくださった方々や、応援してくださる皆さん、また、レース後にねぎらいの声をかけてくださる皆さんのおかげで続けることができました。一人の力では難

しかったに違いありません。とても感謝しています。そんな思いをコマーシャルでも伝えられた。地域イベントなどへ積極的に参加しているのも、感謝の気持ちを何らかの形でお返ししたいからです。

特に地元の皆さんには温かい声援をいただいているので二人ひとりへは無理でも、イベントやマラソン大会などを通じて多くの方に感謝の気持ちを伝えたいと思っています。また、少しでも陸上競技の楽しさを知っていただければ、とも。私流の「おもてなし」と感じてくださる方もいらつしやるようです。

そうした中、昨年は世界陸上モスクワ大会で、昨年のロンドンオリンピックとは違う積極的なレースを展開して入賞し、確かな手応えをつかむことができました。この結果に満足することなく、今年もさらなる高みを目指してい



きたいと思っています。

そんな私から誌面を借りて皆さんへ。いつも温かいご声援、ありがとうございます。世界陸上、オリンピックと結果を残せたのも、いつも応援してくださる皆さんのおかげです。私自身も皆さんに勇気と感動を与えられる選手になれるよう、これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきます。今年もよろしく願います！

応援してくださる皆さんに 少しでも陸上競技の楽しさを 知っていただければと思っています。



国宝・重要文化財保存修復 日本画家

馬場良治さん

1949年山口県生まれ。日本画家。

全国各地の国宝や重要文化財をはじめとする歴史遺産の色彩や壁画の調査・復元の第一人者。平等院鳳凰堂(京都府宇治市)や三十三間堂(京都市)、住吉神社本殿(下関市)などを手がける。



創作と「おもてなし」に通じるのは、相手のことを心底考えること。



「コモーションでお話ししているように、重要文化財の修復にも日本画の創作にも、いろいろな出会いが活かされています。作品は、その結晶と言えるかもしれません。特に古い作品の修復は、描かれた時代や作者との時間を越えた出会いのような気がします。それだけに、いろいろなことを考えますね。例えば、徳川家康と秀忠の霊廟には、ほとんど同じ文様の絵が壁に描かれているのですが、同じ文様のはずなのに、気性の激しかった家康の霊廟は、体温が上がるような、見る者の気持ちを昂ぶらせる雰囲気があるのに対して、気性の穏やかだった秀忠の霊廟は、気持ち落ち着くというか、とても静か

な雰囲気があつて、空気がまるで違うんです。きっと、その絵を描いた人たちが、家康と秀忠の気性や人柄などを本当に心から考えながら描いた結果、作品に性格のようなものが現れたのだでしょう。面白いですよ。相手のことを心底考える。それは、「おもてなし」の心に通じるのかな、と。そんなことを考えたりします。

「おもてなし」というのは、こうした目に見えないものだと思うんです。日本人の感性というか、余韻のようなものなのかもしれませんね。

ところで、今回のコモーション撮影は長くて大変でした。正直、「早く終わらないかな」と思ったり(笑)。驚いたのは「衣裳」かな。もともと衣裳デザイナーの仕事もしていたので、まさか私の衣裳まで用意されているとは思いませんで



した。それが驚きでしたね。

最後に読者の方へメッセージですか？ そんな大層なものには特にありません(笑)。ただ、宇部に来て20年になりましたが、いつも知ってもらえる、という意味で、地元の方さんには本当にありがたいと思っています。自分が生まれ育った町というのは、いいですね。つくづくそう感じています。

「おもてなし」は目に見えないもの。日本人の感性というか、余韻のようなものかもしれませんね。